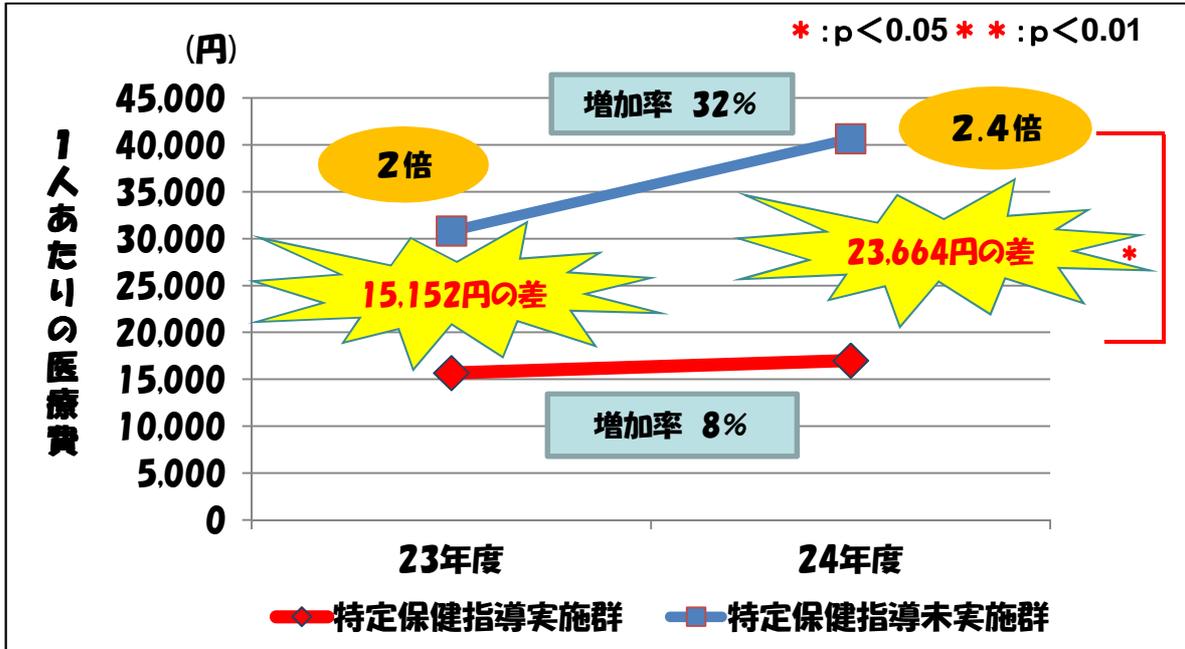


特定保健指導による医療費削減効果

平成20年度の特定保健指導実施群と未実施群のうち、年齢、性別、階層化結果の条件を合致させた38人について3年後、4年後の生活習慣病の一人当たりの医療費を比較したところ、**3年後は約2倍、4年後は約2.4倍の有意な差**がみられた。さらに、2年間の医療費の伸び率は、実施群が8%であるのに対し、未実施群は32%と、**4倍の差**があり、38人の医療費の総額の差は、150万円があった。

特定保健指導実施者と未実施者の医療費比較



上記の医療費削減効果を、以後10年間の推計であらわすと、1人当たりの医療費は**10年後には約10倍の差**が生じ、検証した38人の**差額の累計は、約2,400万円**となる。20年度1年分の特定保健指導実施者は156人で、全体では10年間で**6,800(万円)の削減効果**が見込まれる。

指導後10年間の医療費の推計

